キャラクター名
マステマ

プレイヤー名

シンドローム	バロール オルクス	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	遺産探索局
オプショナル		年齢	?	性別	女
覚醒	忘却	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	50 姉妹	経験	64 古強者	邂逅	55 ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	2	0	0			2
精神	3	0	0			3
社会	3	1	0			4

HP	25
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	6		交渉	2	
回避			知覚	1		意志	2		調達	7	
運転：四輪	3		芸術：			知識：遺産	6		情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	1		情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	射撃	2r	-			

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
貨物自動車	
写真（思い出の一品）	
バイブロゥ（怨念の呪石）	
ﾁｯﾌﾟｽｹｲﾝ（ｽﾄﾚﾝｼﾞﾌｪｲｽﾞ）	
エフィシエントワーク	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
封印者	P	N		
強羅瑠璃	P 好奇心	N 無関心		
妹	P 慈愛	N 無関心		
ジェームズ・ドイル	P 有為	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 22	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
斥力跳躍	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：飛行状態で戦闘移動を行なう。その際、移動距離を+[LV*2]mする。								
黒の鉄槌	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：「攻撃力:+[LV*2+2]」の射撃攻撃を行なう。この攻撃では、あなたと同じエンゲージにいるキャラクターを対象にできない。								
因果歪曲	3	3	メジャー	-	範囲（選択）	S	-	
効果:対象を範囲（選択）に変更する。この効果を受けたエフェクトでは、あなたと同じエンゲージにいるキャラクターを対象にできない。1シナリオLV回								
CR:バロール	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-LV（下限値7）								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果：判定のダイス目をひとつ10に変更。一度の判定に1回、シナリオLV回								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果：判定失敗。シナリオ1回。								
現実改変	1	6	オート	視界	単体	自動	妄想、120	
効果：対象の判定の直後、達成値+20か-20。使用すると、自分はHPを20点失う。シナリオLV回。								
地獄耳	★							
効果：								
変貌の果て	★							
効果：黒い角と尻尾、発光する天使の輪								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

<PC設定:概略>
・世界を旅するエージェント。
　UGN本部遺産探索局に所属しており、主な業務は遺跡・遺産の実地調査、管理支部の査問、遺産関連事件の調査及び解決。優れた実績・能力と本人の意志から、世界各地を飛び回る激務の日々を送っている。
　現在の生活を好んでいるようで、仕事柄切っても切れない遺産やレネゲイドという存在に対して、悪感情ではなく純粋な好奇心や興味を抱いている。それでいて、彼女は遺産が敵の手に渡り悪用されたとしても涼しい顔でそれに対処し、仕事であればそれを破壊することに少しの躊躇もしない。

・普段から微笑を絶やすことがなく、誰に対しても友好的な態度を取る。
　どんな場面においても微笑と冷静な思考を崩さない為、感情を抱いているように見えず何処か人間味のない得体のしれない存在と取られがち。本人もまたそれを否定することはないが、このスタンスを崩すことは殆どない。曰く、「如何なる関係性も、感情も、悪いものではないが必要なものではない」とのこと。
　ただ、他人に興味がなく交流を軽んじているという訳ではなく、深い付き合いをしないだけである。今までの旅について興味を持った者がいれば、彼女の都合もあるがお茶菓子などを交えながら気軽に話してくれる。
　この性格・思想に至ったのに、彼女自身忘れてしまった過去の覚醒が関わっているのか、携帯する2本の杖がその精神に根深い影を落としたのか、過酷な旅を続けるにつれ失われていったのか、定かではない。

・妹がいる。
　妹との血の繋がり、今どこにいるのか、オーヴァードなのか、その全ては彼女とその妹のみぞ知ることである。
　少なくとも、彼女が一線を踏み外していない要因となっているのは確かで、時折写真を眺めてはいつも通りではあるが、柔らかな笑みを零している。

<PC設定:詳細>
　黒色の杖”バイブロゥ”と白色の杖”チップスケイン”の二本の杖を操る。これらは両方ともEXレネゲイドに感染した強大なものであり、遺産に類する物品である可能性も挙げられている。入手の経緯はマステマ自身も憶えていないようで、気づいた時には二本の杖を持っていたという。その為、これらの杖自体、彼女が思